

2023年1月4日

## ロンドンでごみ焼却発電プラントの設計・調達・建設を受注 ～ 子会社 Hitachi Zosen Inova の英国で 18 件目となるプロジェクト ～

日立造船株式会社の 100%子会社で、ごみ焼却発電プラントの設計、建設、保守などを手がける Hitachi Zosen Inova AG (スイス、以下、HZI) は、このほど、英国の大手廃棄物処理事業者である Cory Environment Holdings Limited (以下、Cory 社) より、同社がロンドンで新たに計画しているごみ焼却発電プラント (プロジェクト名称: Riverside2、ストーカ式焼却炉: 処理能力 654,000 トン/年、発電出力: 61MW 以上) の EPC (Engineering: 設計/Procurement: 調達/Construction: 建設) を受注しました。

Riverside 2 は、Cory 社がロンドンの <sup>ベルヴェデーレ</sup>Belvedere のテムズ川沿いで 2011 年より運営しているごみ焼却発電施設 (プロジェクト名称: Riverside1、ストーカ式焼却炉: 処理能力 785,000 トン/年、発電出力: 72MW) の隣接地に建設されます。

HZI は Riverside 1 の EPC も行っており、Cory 社からその実績が高く評価されて、この度の受注につながりました。Riveside2 は、HZI にとって英国における 18 件目の受注となり、2023 年 1 月に着工、2026 年に完工・運転開始の予定です。稼働後は、ロンドンを中心とした英国南東部から発生するごみを年間約 654,000 トン処理し、排熱を利用して発電することによって約 14 万世帯分の年間電力使用量を賄うことが可能です。

当社グループが得意とするごみ焼却発電はクリーンエネルギーの 1 つであり、温室効果ガスの削減に貢献できます。また、環境意識の高まりや廃棄物処理量の増加により、EU 諸国をはじめ、英国、東欧、中東、オセアニアなどの国々で、ごみ焼却発電プラントの需要が高まっています。

当社グループは、ごみの衛生的処理やクリーンエネルギーの提供を通じ、国連サミットで採択された SDGs (持続可能な開発目標) や世界の環境問題解決に積極的に取り組んでいきます。

なお、本件の概要は以下のとおりです。

1. 発注者: Riverside Energy Park Limited  
(Cory 社が Riverside 2 のために設立した特別目的会社)
2. 最終需要家: Cory Environment Holdings Limited (本社: ロンドン)
3. 建設地: 英国ロンドン市内・<sup>ベルヴェデーレ</sup>Belvedere
4. 施設規模: ストーカ式焼却炉 (2 炉) 処理能力 654,000 トン/年、発電出力: 61MW 以上

(終)